

本書に書ききれなかった

自分で勉強する子にするための

**Q&A 集**

共働きだからできる 中学受験必勝法!

Q

4年生の息子がサピックスに通っています。

夏休みを前に、春からここまで成績が下がってきていますが、本人に危機感がないようです。(現在アルファベットクラスの真ん中くらいです)

学年が上がると習う内容も難しくなっていくというのに、こんな状態でいいのでしょうか。不安です。(サピックス4年)

A

4年生のお子さんだと、5年生になったときの事を考えて危機感を持つ、ということができない子がほとんどです。子どもの時間感覚だと1年先は「遠い未来」くらいでしょう。

ここでは危機感をもたせる方向ではなく、前向きに成績を上げていこうという気持ちにさせる方向が良いと思います。

お子さんは行きたい学校はあるでしょうか。もしもあるなら、その学校の話度を度々出し、「こんな行事があるんだって」「こんな問題が出るんだって」といった紹介をしてあげるといいと思います。

特に麻布中や武蔵中のように特徴ある出題の学校では「入試問題でこんなにユニークなことが扱われている」というトピックはお子さんにも興味がわくはずで

す。また志望校がまだ決まっていなかったら、学校をいくつか見せてあげるのも刺激になりますね。

夏休み中も、サマースクールやクラブ体験などを開催している学校が多くあります。親子で参加して刺激を受けるのもよいでしょう。

行きたい学校ができたなら、その学校に合格するにはどのくらいの成績が必要か、親子で確認します。

その上で、親も協力するからがんばって成績を上げないか、という提案をするといいですね。

本人が前向きにがんばろうという体制をまずは目指してみてください。

Q

5年生男子、サピックスに通わせています。

4年生までは私がなんとか算数を教えることができたのですが、最近難しくて。。。正直、サピックスの解説を読んでも親の私が「どうしてそうなるの？」と思ってしまうような問題もあります。どうしましょう。(サピックス5年)

A

さすがに5年生の内容になると、中学受験の算数に相当詳しい方でないと解けない、あるいは解けてもお子さんにうまく説明できない、という問題も増えてきます。お悩みの方も多いでしょう。

まず、すぐにできることは、宿題の取捨選択です。「共働きだからできる中学受験必勝法！」本書第4章6でもご紹介した「 $\bigcirc\Delta$ ×勉強法」を試してみましょう。

もう少しでわかりそう、わかるけど少し自信がない問題を完全に理解して自力で解ききれるようにする、ということを最重要課題として取り組みます。お子さんがお母さんに対して説明できるか、を最終ゴールにしてもいいですね。誰かに説明できるということは、問題を深く理解しているということです。

問題は、それでも解けなかった問題です。

親が教えられるといいのですが、そうでなければ第三者の力を借りることを検討するのも1つの方法です。

わからない問題に関して、塾の先生に質問することはできるでしょうか。それが無理なら、外部の個別指導教室や家庭教師を検討するもの1つの手です。

本書第4章10・11を参考に、とりあえず家庭教師の体験授業を受け、信頼できそうな家庭教師業者の「あたり」をつけておくのも、困ったときへの備えとして役立ちます。

ぜひ試してみてください。

Q.

5年生の夏期講習期間について質問です。両親ともに中学受験しておらず、夏の勉強の進め方に不安があります。

通っているサピックスの校舎で夏期講習を受ける予定ですが、どのように勉強を進めるとよいでしょうか。(サピックス5年)

A

夏休みには苦手克服、これまでの復習などやりたいことがたくさんあると思うのですが、「夏期講習以外のことをする余裕がない」という状態になるお子さんが、特にサピックスでは多いのが現状です。

なぜならサピックスの夏期講習は、年間を通した一連のカリキュラムの一部であり、「これまでの総復習」というような講習会ではないからです。

そのカリキュラムが、ふだんよりもはるかに速い進度で進んでいくのです。

平常時は一週間に1つの単元を消化していくサイクルですが、夏期講習中は一週間に3~4単元進みます。

当然その宿題は「次回の授業まで」ですから、早いときは明日までに宿題を終わらせなければならない、という状況になるのです。

こうなると「とりあえずこなす」という学習になってしまい、「あんなに勉強したのになぜか8月のマンスリーテストでは点が取れなかった」となりがちです。

「その日のことはその日のうちに」が日々を回す上では必要ですが、意識的に「理解できたか」「誰かに説明できるか」といったことを考えながら勉強をしていかなければなりません。

夏のカリキュラム以外にやりたかったこと（復習や苦手克服など）を行うチャンス（日程）は3つあります。

1つめは、夏休みが始まってから夏期講習が始まるまでの数日間、2つ目はお盆の期間、そして3つ目は夏期講習が終わってから夏休みが終わるまでの数日間です。これらの期間を上手に使ってくださいね。

Q

息子の字が汚く困っています。

テストでも字が汚いために×になったり、自分の書いた数字を読み間違っ  
て計算ミスをすることもあります。おかげでクラスもいつも一番下です…。

うるさく言ってもなかなかおきません。アドバイスをください。(四谷大塚 4  
年)

A

字が汚いとのこと相談ですが、お子さんはいつも字が乱雑なのでしょうか。ある  
いはテストの時に特に乱雑になるのでしょうか。

ふだんから字が乱雑ということであれば、雑に書く習慣がついてしまっている  
と考えられるので、丁寧に書く練習が必要です。

ひらがなや数字のドリルを使ってもいいですし、親御さんがパソコンで大きめ  
の文字で印刷し、それをなぞる、真似て書くといった練習でも OK です。

あまり長々とやると嫌がるので、5分程度、その日の勉強時間の冒頭にやらせて  
みましょう。

また、鉛筆の持ち方が悪いために字が乱雑な子も増えています。鉛筆を握りし  
めるように持ち、人差し指を親指で押さえつけるような持ち方になっていない  
のでしょうか。

鉛筆の持ち方が悪いと、真っ直ぐな線が引きにくかったり、自分の書いている  
文字が片目でしか見えないなど、計算ミスや見間違いにつながります。

テストの時に特に字が乱雑になるお子さんは、焦りの気持ちから乱雑になっ  
ているものと思われます。

テストの受け方を親子で相談してみましょう。

まずは親子で「テストの目標」として低めのものを立てます。

「大問1の計算は1つ間違いまで」「2と3はわかるものだけ解いて、解いた問  
題はパーフェクトに」くらいからはじめて、だんだん達成できるようになれば  
「4からあとは(1)ができればいい」くらいまで、徐々に目標を高くしてい

ましよう。

本書第 6 章 4 を参考に、ふだんの学習からスピーディーにやる問題とじっくり取り組む問題を分けて考えることにも挑戦してみてください。

Q

全科目、「こなす勉強」から抜け出せません。

私の中から見ても宿題が多すぎて、娘の速さでは「こなす勉強」にすらならない感じです。成績も下がっていて、もっと基本的なことを中心に、しっかり理解してほしいと思うのですが、それに時間がとれません。どうすればいいでしょうか。(早稲田アカデミー5年)

A

早稲田アカデミーに限らず、大手塾に通うメリットとして「しっかりとしたカリキュラムがある」ということがあります。

「これだけやっていけば、受験に必要な知識や解き方、考え方がすべて身につく」という考え方で作られたカリキュラムです。

ただ、塾によってはそれが「膨大」であり、小学生の子どもが睡眠時間を削らなければこなさきれないような量になっていたりもします。

早稲田アカデミーは「宿題が多い」「体育会系」などのイメージが強いですが、実は先生がよく相談に乗ってくれるタイプの塾でもあります。

お子さんの家庭学習の様子を伝え、「まずは最低限のことをしっかり理解して身につけることを目的にしたい」「今の宿題量ではこなすだけの勉強になっていて、成績に結びついていない」と現状を伝えれば、宿題の量を整理してくれる可能性があります(過去、多くの親御さんが相談によって宿題の量を整理してもらっています)。

塾の先生によく相談し、ご家庭の方針と現状についての認識を伝えてみてください。

その上で、本書第4章6でご紹介した「○△×勉強法」も試してみてください。

闇雲に多くの量を勉強するより、ある程度絞り込んで理解を深めたほうが成績に結びつきやすいものです。

Q

6年生の男子です。志望校は偏差値 60 くらいです。  
現在、各科目とも重点的に「W ベーシック」に取り組むように指導されています。  
そのため、W ベーシックの宿題や復習に時間を取られ、演習問題集に手を着ける時間がありません。  
W ベーシック中心に勉強するだけで良いのでしょうか。

A

どの問題集を、いつ、どのように活用すれば良いか、というご質問は中学受験に向けて日がなくなってくるこの時期によく聞かれるものの一つです。  
志望校の偏差値が 60 程度ということならば、演習問題種がちょうど当てはまる難易度です。ですが、今のクラスでは W ベーシックの宿題や復習に時間を取られ、演習問題集を解く時間がないということですね。

W ベーシックの問題を中心に解くだけで良いのか、というご心配かと思いますが、お子さまが今どんな学力を身につける必要があるかによって、答えは変わってきます。

希望される偏差値あたりの学校なら、演習問題集に載っている問題を解く力が受験までに求められてきますが、今の力がそこまでではない場合、まず基礎的な力を W ベーシックで身につける必要があります。

W ベーシックの特長は、一つ一つを解いていけば、典型的な問題であれば「見たことがない問題はない」と言える状態になることです。基本形の問題が單元ごとに通り返されている上に、十分な量があるためです。ただ、問題の量が多いので、こなすだけの学習になってしまうリスクもあります。

W ベーシックが割りと難なく解けて、問題の難易度に物足りなさを覚えるような得意科目に関しては、少しレベルの高い演習問題集を解いて、実力を伸ばすとよいでしょう。

1 問あたりの時間は長くかかりますが、入試に近い問題が収められているので、学習が密度の濃いものになるかと思えます。

志望校の偏差値に対して、W ベーシックだけの問題演習では易しすぎないかという不安や、演習問題集を解くとすれば、応用 A、応用 B といった問題のどこまでを解く必要があるかといった相談を塾の先生にして、取捨選択をしてもらうのも効率的だと思います。

W ベーシックの問題を少し減らして演習問題集を解き進めることは我が子にとって良いかどうか、といった迷いも同様に解決しましょう。

Q

4年生の息子を2月から日能研に通わせています。

最近やる気がでないようで、私がうるさく言わないと勉強を始めず、やり始めてもすぐに集中が途切れてしまいます。

そんなときも私は何とか勉強させようとするのですが、夫はいいやや勉強する息子の姿を見たくないらしく、本人がやる気になるまで待てと言います。

どうすれば息子が自分から勉強する気になるのでしょうか。

A

お子さんのやる気が出ないとのことですが、2月の入塾当初、新しい環境、新しい先生、新しい友だちといった刺激が薄くなってきているのかもしれないですね。お母さんとしてはなんとはいやる気を出してほしいとお感じになるだろうと思います。

お父さんの言い分もわからなくはありませんね。男性がよく見せる反応でもあります。

さて、だからといってお母さんがうるさく言うだけでは、本当のところやる気は出ないでしょうし、お父さんが言うようにまっていたらいつかやる気が出るという保証もありません。

お母さんにうるさく言われると勉強を始めるということは、「勉強はやらなくちゃいけないものだ」という義務感はあるのだと思います。多くの「やる気がない」と言われるお子さんと同じです。

「やらなくちゃいけない」とは思っても、やる気が出ない。

どうしてでしょう？

それは「できる気がしない」からかもしれません。

「できる気がしない」理由はさまざまです。問題が難しすぎてできる気がしないのかもしれないし、宿題の量が多すぎてできる気がしないのかもしれません。まず、何がハードルになっているのか、お子さんから聞き出すことです。

その際、くれぐれも「怖い顔」で「尋問」にならないよう、フラットな気持ちで「やる気がでないのはどうしてだと思おう」と聞いてみてください。

理由がわかれば対処法も考えやすくなります。難しすぎるのなら塾の先生に相談して質問させてもらう、量が多すぎるのなら宿題の取捨選択という方法もあります。

そして解決に向けて一歩踏み出したら、お子さんを褒めてあげましょう。お子さんは親に褒められる、認められるのが何より嬉しいものです。

まずはお子さんがどう感じているのかを聞くところからですね。

## Q

5年生に上がって、塾が週3回になりました。

娘は負担を感じているのか、近頃は反抗的な態度です。

やらされている感が強く、モチベーションも低くなってしまっています。

こんなことでは習った内容も身につかないのではと悩んでいます。(日能研5年)

## A

どの大手塾も、4年生の勉強は量も少なく楽です。

理科や社会もまるで学校の理科社会のように、季節ごとの生物を習ったり、寒い地域や暑い地域の人たちの暮らしを習うなど、身近で具体的です。

それが5年生になると内容も高度に、そして量も多くなります。通塾日数も増えるので、実感として4年生から5年生に上がると、1.5倍~2倍位の負担になります。

お子さんたちはストレスを感じますが多くのお子さんは2か月~3か月かけてその環境に慣れていきます。

お子さんは、まだそのストレスから抜け出せていないのかもしれないですね。

まずは「何もかも」という気持ちを親も子も捨て、「これだけは」という目標を一緒に立ててみるのはどうでしょう。

漢字と計算は毎日やるとか、カリテの基本問題をパーフェクトにするとか、小さなことで構わないので、親子で目標を立て、達成できたら褒めてあげましょう。

そうやって小さな達成感を積み上げていくことで、モチベーションが生まれます。

目標を立てるときですが、お子さんに言わせると「親の手前高めに設定する」かもしれません。

以外に低い「そんなことでいいの?」という目標を親から提示してみるのもいいでしょう。

ぜひ試してみてください。

Q

6年生になってからクラスが落ちてしまって、そこからモチベーションが下がってしまっています。

なかなかやる気が見られず、親が逆にあせるばかりです。

子どもにやる気を再び持たせるにはどうしたらよいでしょうか。

(日能研6年)

A

クラスが下がったことによってモチベーションも下がってしまっているというお悩みですね。

もう6年生で刻一刻と受験が迫ってくるのが分っている親の立場からすれば、焦る気持ちも分ります。

お子様の状況を直接見てみないと正確なことは分かりませんが、一般的にはクラスを元に戻してあげることがモチベーションアップに一番つながると思われま

す。ということは、普段の学習でお子様が「この調子で頑張れば、次はクラスアップできるかも」と感じることができかどうかの一つの分かれ目になりそうです。

とはいえ、伺っているご様子ではお子様はそのような前向きな気持ちで勉強に取り組めていないと推察されますので、どのようにして成功の予感を持ってもらえるかを考えていく必要があると思われま

す。そこで、まずは親子でクラスアップのための作戦会議をしてみたいかがでしょうか。

それぞれの科目で

- ・現段階で出来ていること、強み、長所は何か
- ・今後強化しないといけないことは何か、たくさんある場合はどれを優先するか
- ・今取り組んでいる学習メニューはこのままで良いか、付け加えたり削ったり

する必要はないか

- ・学習メニューを増やす必要がある場合は、どこでその時間を捻出するか

といったことなどを、できる限り具体的にしていってください。  
ただし、注意していただきたいことがあります。

① お子様の出来ない部分ばかりに視点を当てないでください。

更にモチベーションが下がってしまう可能性もあります。

褒めるべき部分や頑張っていることは認めてあげてください。

② 優先順位をつけてあげてください。

あまりにやるべきことが多いとお子様が感じてしまう場合も、モチベーションは下がる可能性があります。

③ 親子だけではどうしていいかわからない場合は、ご家庭で抱え込まないで塾の先生や第三者に相談してください。

特に③が大切です。

また、あくまでも「お子様が前向きになるための作戦会議」という位置づけを忘れないでいただきたいと思います。

Q

4年生の男子です。浜学園に通い始めたのですが、宿題以外の勉強が全くできません。宿題チェックは厳しいようで、それだけは机に向かってやっています。

(親の私から見ると、それも効率的にできていないように思いますが。)

5年生になると、今よりもっと大変になると聞いています。

宿題だけをやらせていていいのでしょうか。(浜学園4年)

A

まずは、「塾の宿題をやっているだけでもけっこう大したこと」だという認識を持つようにしましょう。4年生の期間というのは、塾のある生活に慣れて毎週の塾の復習と宿題をするのがルーティン、という日常が普通であるという感覚を身につけるのがテーマです。

ここで「塾の復習と宿題」と表現したのは、塾の宿題をすることがすなわち復習だと考えているお子さん、親御さんが多いからです。

復習というのは、その日塾で習ってきたことを思い出して、もう一度追体験すること。そのうえで宿題の問題を解いてみて、理解できていてさらに自分でもできるようになっているかを確認します。

復習は、できるだけ塾で習ってきたその日に行います。お父さん、お母さんが手伝ってあげましょう。

「今日はどんなことを習ってきた？教えて。」と親が生徒役になり、お子さんに説明させてみるのです。

こうやって誰かに説明することで、あやふやな部分に気づき、理解を深めることができます。

宿題は翌日など時間のある時で構いません。分野にもよりますが、繰り返しは2回くらいまでにとどめましょう。

よく3回、4回と「完璧」になるまで繰り返させるご家庭がありますが、勉強が「作業」になってしまい面白みを感じなくなってしまいます。

その状態で5年生の難度の上がった勉強を迎えると、成績が下がります。

塾の宿題以外のことをやらせるなら、同じ単元の問題を他の問題集で探してやらせるなど「こんな問題もあるんだね」という新しい驚きや体験が得られるものにするとういでしょう。

4年生で学習習慣をつけ、学ぶ喜びを知ったお子さんは、高学年になってもうまく勉強を続けていけるものです。

## Q

娘が春（春期講習）から浜学に通っています。

もう夏になるのですが成績が伸びず、クラスもいちばん下（H・S・VとあるうちのH）です。

復習テストは、いつもそのクラスの平均点くらい。。。

公開テストでは偏差値 50 を超えたことはありません。

宿題は全部やっています。どうして成績が上がらないのでしょうか。

このまま夏期講習を受けて成績が上がっていくのか不安です。（浜学園 5 年）

## A

まずは現状確認が大切です。「いつもクラスの平均くらい」とのことですが、その中でも特に悪かった回とそうでない回はないのでしょうか？

感覚だけでなく、具体的な単元名や数字でも書き出してみて、実際に「穴」になっている単元を割り出し、それをどのように補強するかを考えます。

浜学園の 5 年生は 1 学期に割合・比を学習し、夏期講習でも同じ単元がでます。1 学期にこれらの分野でつまづいているなら、夏期講習は克服のチャンスです。

一方で、ふだんから復習テストが平均点程度ということは、授業の理解度を今一度確かめてみる必要があります。

今日習ったことをお子さんに説明してもらったり、「先生は何が大切って言った？」といった質問をすることで、授業内容をどれくらい理解できているかを確認しましょう。

授業の聞き方に関しても

「先生が説明を始めたら、書いている途中でも顔を上げて聞こうね」

「途中でわかりにくいと思っても、最後まで聞いたらわかるように説明してくれるから、最後まで聞こうね」

といった具体的なアドバイスを与えてあげるとよいでしょう。

注意が必要なのは、浜学園は夏期講習中も平常授業が止まらないことです。

夏期講習は復習内容とはいえ、平常時の授業よりも速く単元が進んでいきます。

その上で平常授業では新しい単元を習うわけですから「夏期講習で復習できる」と安心せず、冒頭にあげた「穴」になっている単元を夏までに一度復習しておくことをおすすめします。

個別指導や家庭教師の体験授業で苦手克服をお願いしつつ、将来的に信頼して利用できそうな業者さんを見つけるおくのもオススメです。